

## 261) 今はもう懐かしい (サウンド入り)

脱ぎ捨てたスニーカー 今はもう懐かしい  
履きなれたジーンズさえ クロゼットに眠ってる  
あのころはお化粧も 口紅もつけないで  
背伸びして生きること なんとなく嫌だった

いつか来たこの道が 今はもう懐かしい  
キャンパスのカフェテラスで あの人と語り合い  
少女から女へと 変わってく日々だった  
信じ合い愛し合い 初めての恋をした

♪あのころの私には、怖いものなど何もなかった。

青春の真ん中で、毎日が輝いて、私には神様がいつも微笑みかけた♪

あの人の優しさが 今はもう懐かしい  
学び舎に刻んだ日々 だんだんと遠くなる  
時期(トキ)が来てそれぞれに 別々の道を行き  
きっとまたいつの日か この道に帰って来る

青春のときめきも 今はもう懐かしい  
さよならの涙もなく 何度の夏が去り  
あのころに見た夢は アルバムに残るだけ  
歳月が過ぎし日を 思い出に変えてゆく

♪いつかは夢から覚めるように、青春はいつまでも続かない。

夏が行き、秋風のささやきに耳を傾けるとき、私は立ち止まり人生を振り返る。

やがて来る冬に向かって、歳月だけが規則正しくページを綴(ツヅ)る♪

哀しみも苦しみも 今はもう懐かしい  
いくたびか愛し合って いくたびか躓(ツマづ)いて  
言葉では尽くせない 人生を生きている  
いつの日か逢う人の 面影を追いかけて

この『今はもう懐かしい』と、339『ふるさと』とは、あわせて1対としたもので、同じメロディにしております。人生どこかでめぐり合い、どこかで分かれて、それぞれの道を歩いてゆくものですが、そんな人生を見つめなおして、『今はもう懐かしい』は女性がうたい、『ふるさと』は男性の方が歌って、それぞれの若き日を思い出していただけたらと考えております。

また♪マークの中の台詞は歌う人それぞれが、ご自分の若かりし頃の思い出に基づいて、即興で作詞されるのがよろしいのでは、と思っております。